



# 新たな北海道総合開発計画

～世界水準の価値創造空間を目指して～

キャッチフレーズは「**世界の北海道**」

地域の発展と我が国の課題解決に貢献しつつ、  
世界的なブランド力・価値創造力で  
世界の人々に評価される、

「**世界水準の価値創造空間**」

の形成を目指します。



# 目指すは「世界の北海道」

## ～新たな北海道総合開発計画を策定しました～

### これからの北海道の戦略

#### 「食」「観光」が戦略的産業

● 人口減少時代にあっても、

- ① 北海道には世界と競争し得るポテンシャル
- ② アジアなど世界の市場が拡大傾向

### 次の10年(新計画)の重点的取組

- (1) 交通ネットワーク強化と重層的な機能分担
- (2) 農林水産業の競争力・付加価値向上
- (3) 世界水準の観光地域づくり
- (4) 地域づくり人材の発掘・育成

農林水産業、観光等を担う「生産空間」を支え、  
「世界の北海道」を目指します

#### 目標①

### 人が輝く地域社会

人々が長年にわたり住み続けられ、  
個性や創造性を発揮できる社会

### キャッチフレーズ

## 「世界の北海道」

#### 目標②

### 世界に目を向けた産業

「食」「観光」を戦略的産業として、  
世界に飛躍

#### 目標③

### 強靱で持続可能な国土

豊かな自然・再生可能エネルギーを活用、  
暮らしの安全・安心を確保

### 北海道総合開発計画とは：

《計画期間》 2016(平成28)～2025(平成37)年度の10年間

北海道の資源・特性を活かして我が国が直面する課題の解決に貢献するとともに、  
地域の活力ある発展を図るため、国が策定する計画です。



# 北海道のいま～現状と課題～

北海道は我が国の食料供給基地であるとともに、外国人観光客も急増するポテンシャルあふれる地域。

一方、全国よりも10年先行して人口減少・高齢化の課題に直面しています。

## 北海道の現状

### 北海道は我が国の食料供給基地

- 生産量全国1位の主な農水産物(H26)
  - ほたてがい: 47.4万t(全国の86.0%)
  - ばれいしょ(春植え): 191.6万t(同79.5%)
  - 生乳: 381.1万t(同52.0%)

### 食の輸出、外国人観光客も急増

- 北海道の食料品等輸出額※はH20年の約3倍。
- 訪日外国人来道者数はH15年度の約5倍。

取組

### ホタテの海外輸出

- 平成26年のホタテの輸出額は304億円。
- 屋根付き岸壁の整備といった高度衛生管理対策により、HACCP※対応など海外展開のために必要な環境整備を積極的に進めています。

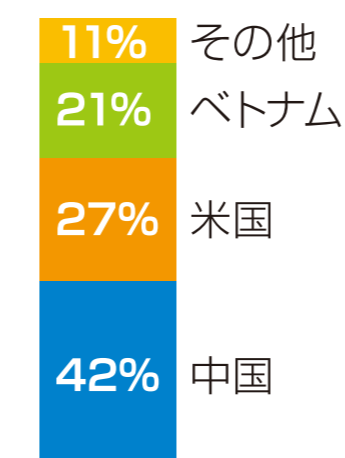


H26: 304億円

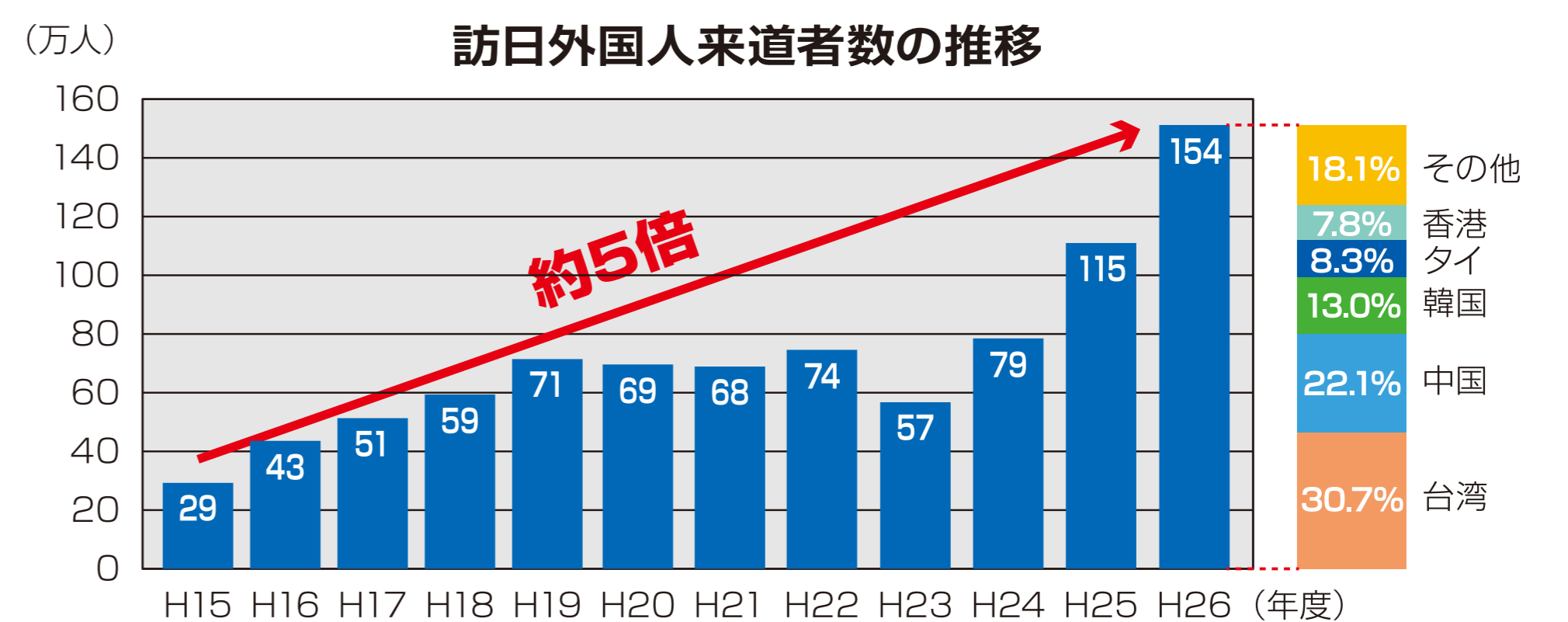
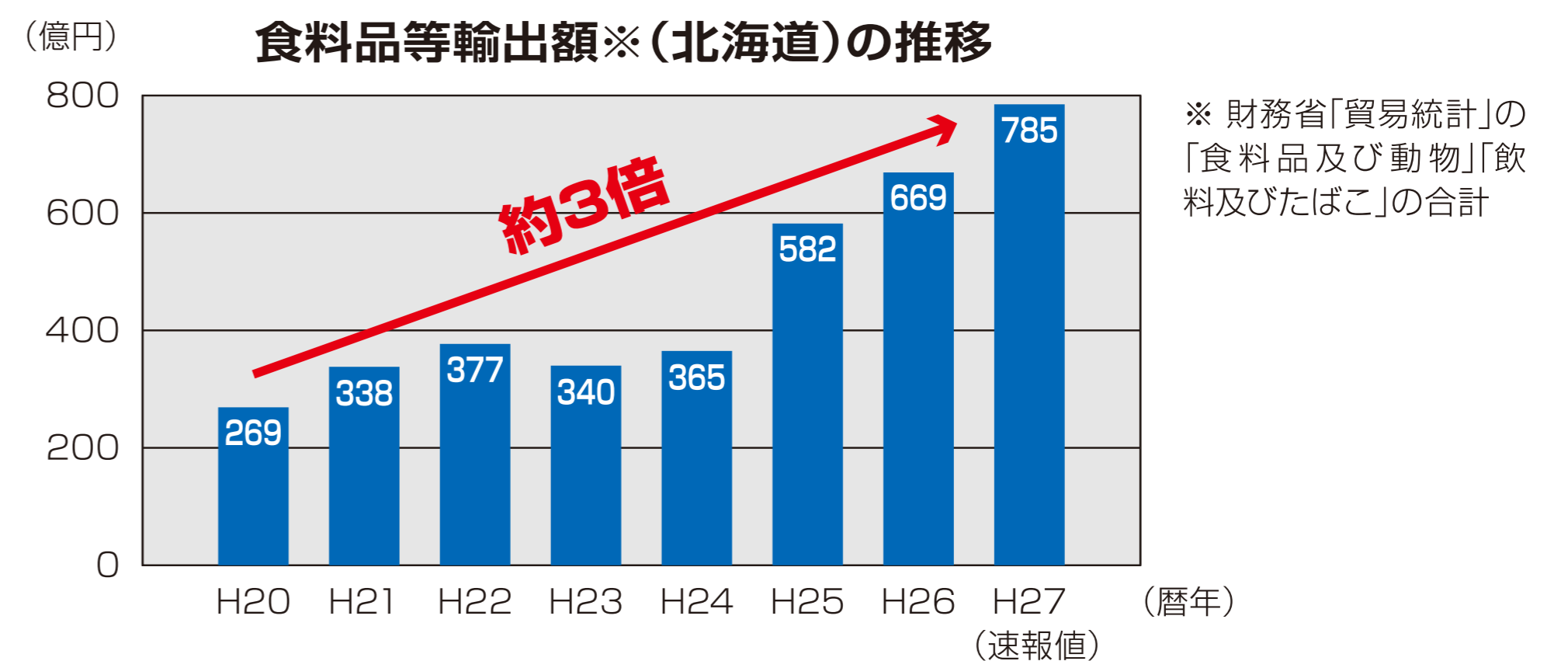


屋根付き岸壁

輸出国(内訳)

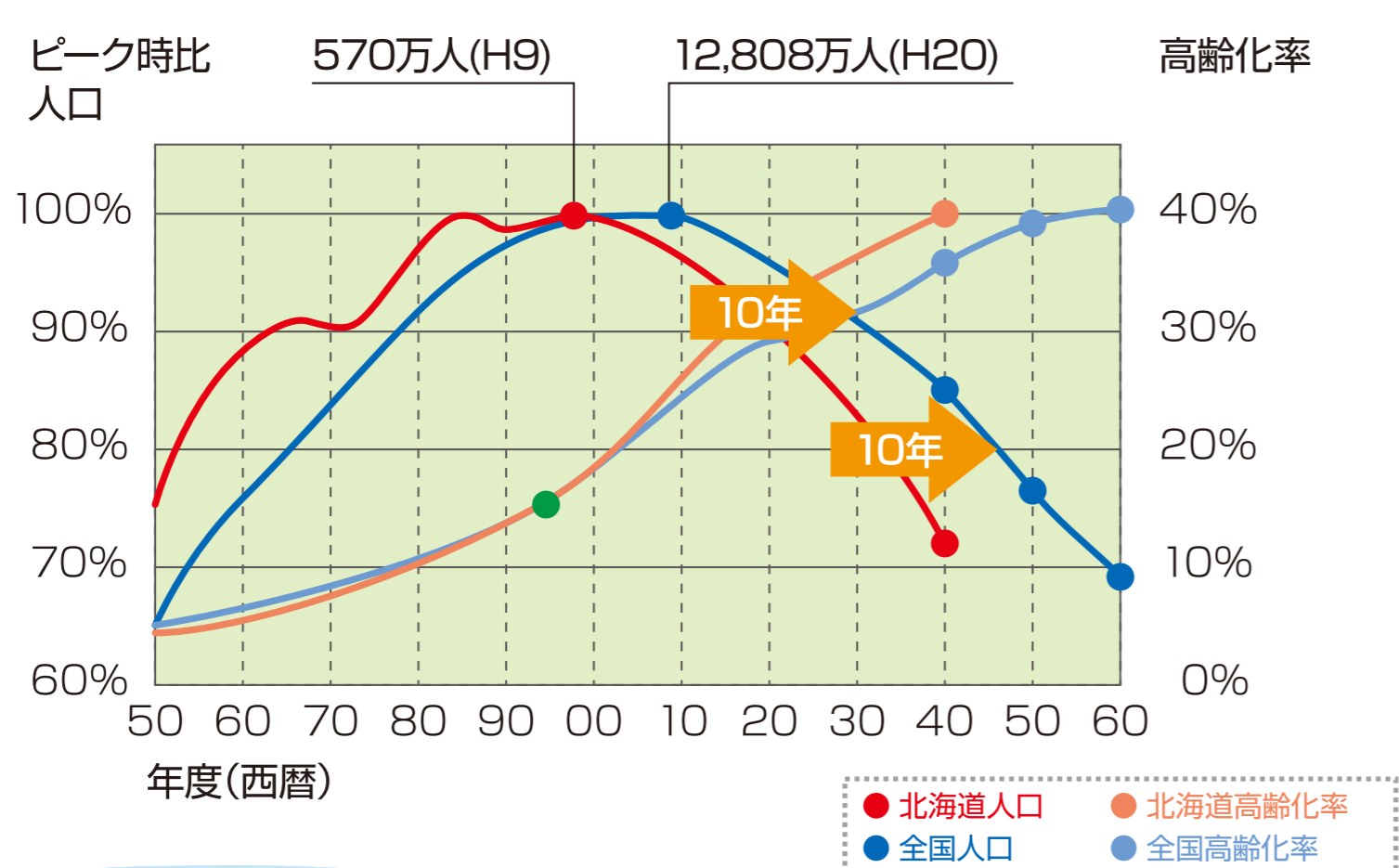


※HACCP: 食品製造等に関する危害要因を分析し、特に重要な工程を監視・記録するシステム。



## 北海道の課題

- 北海道は、全国よりも10年先んじて人口減少が進展しています。
- 2040年(H52)には8割の市町村で3割以上減少すると推計されています。
- 最寄り都市までの平均距離は全国の2倍以上であるなど、本州等とは距離感の異なる広域分散型社会を形成しています。





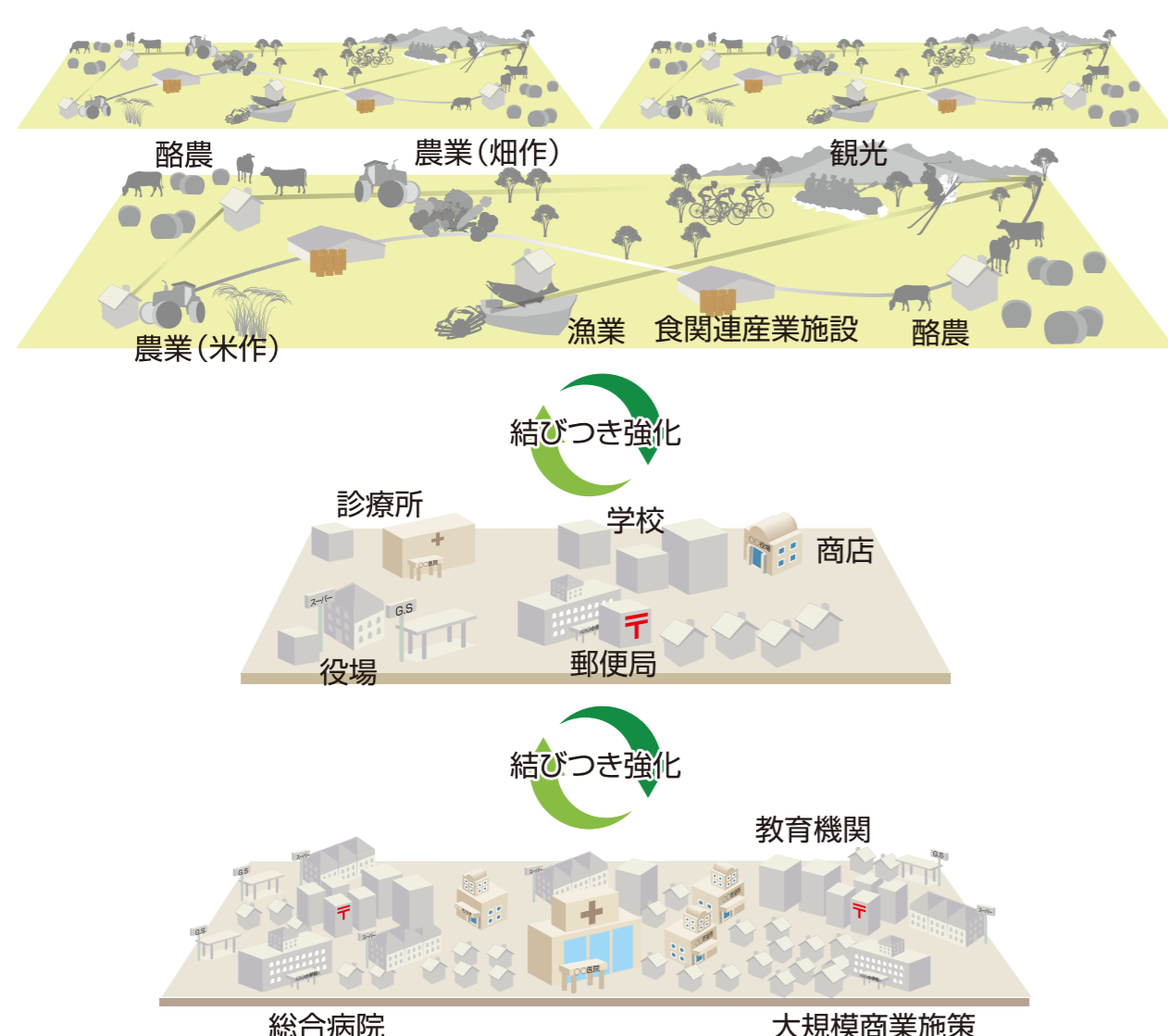


# 住み続けたい その思いをかなえる

地方部から都市部に至るまで、将来にわたって住み続けられる。  
農業・漁業の生産の場で、観光等の多面的な機能を持つ  
「生産空間」を維持・発展させ、暮らしとしごとを支えます。

## 将来にわたって住み続けられる地域を目指して

- 北海道の「強み」を提供する地域とそれを支える人々は、北海道の地方部に広域に分散しています。
- 農業・漁業の生産の場で、観光等の多面的な機能を持つ地域を北海道の「生産空間」と位置付けました。
- 「生産空間」を維持発展させるため、圏域を一体として暮らしと仕事を支えます。



### 地方部の生産空間

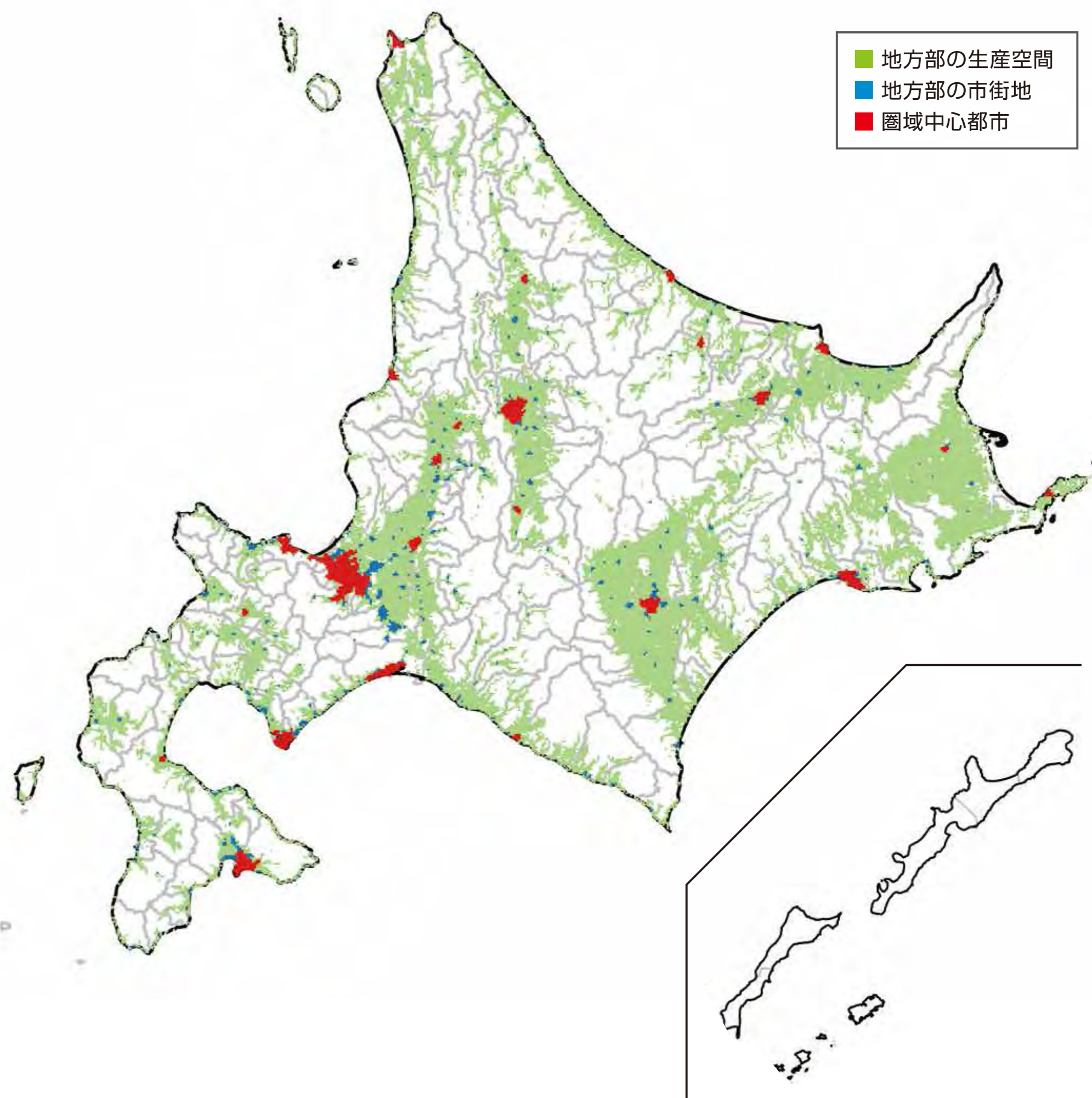
主として農業・漁業に係る生産の場であるとともに、観光その他の多面的・公益的機能を提供する空間。

### 地方部の市街地

役場、診療所、小中学校、商店・ガソリンスタンド、郵便局などが立地し、生産空間の日常的な生活を支える拠点。

### 圏域中心都市

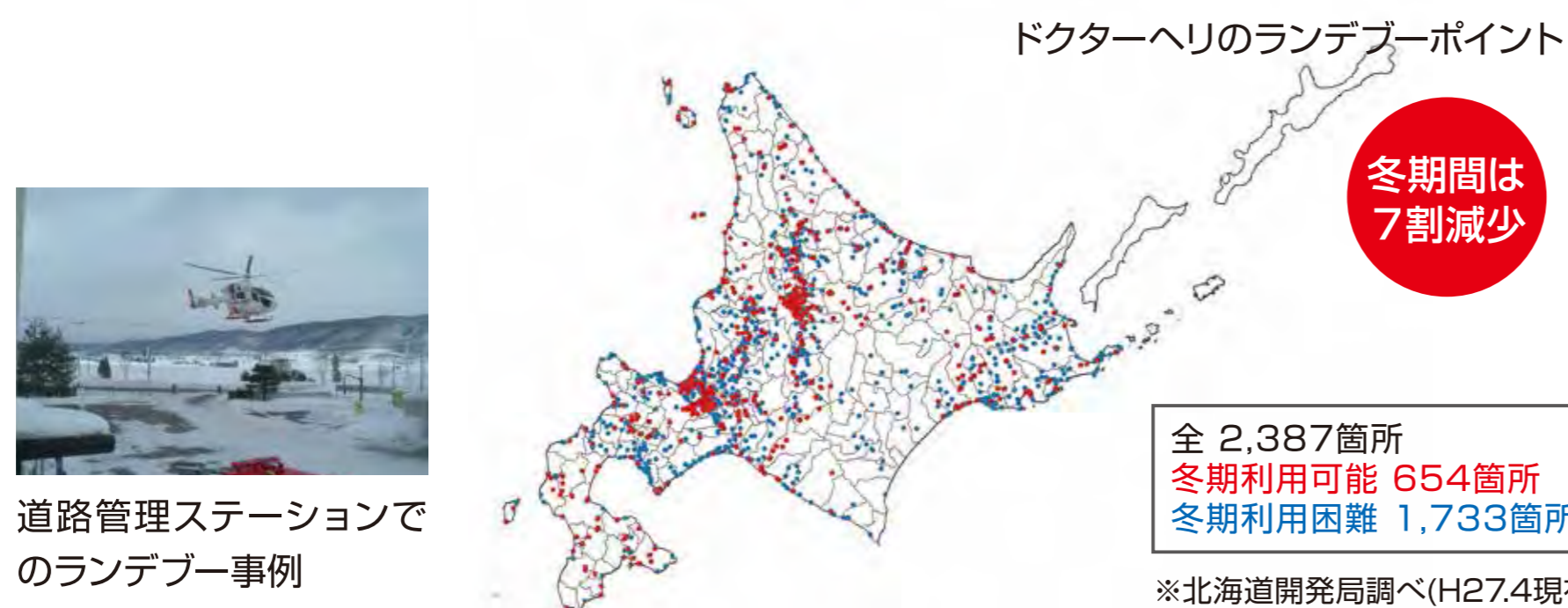
医療・福祉・介護、教育、商業、娯楽などの高次な都市機能・生活機能が集積する、にぎわい・憩いの空間。



### 取組

#### 地域医療を支える救急搬送支援

- 道路施設等を活用し、ドクターヘリのランデブーポイントを確保するなど、救急搬送の支援を進めています。



### 取組

#### 「道の駅」による拠点づくり(ニセコ町)

- バス停が「道の駅」に併設され、地域住民や観光客の集まるにぎわい・情報発信の場となっています。

地域間を結ぶ交通の結節点  
地域内外との交流拠点  
地域活動の充実





# つながる・ひろがる・はなひろく 地域づくりの担い手をサポート

人口減少時代にあっては、「人」こそが資源。  
多様な人々の緩やかな「つながり」、コミュニケーションの「ひろがり」を促進し、  
地域間交流の促進、地域づくり人材の発掘・育成を進めます。

## 多様な人材の確保と対流の促進

### 地域づくり人材の発掘・育成

- 地域で活躍する地域内外の人々とその活動量を増加させ、「活動人口」の確保を図ります。



除雪ボランティア(岩見沢市)  
(ボランティア活動による広域交流イノベーション推進研究会)



地域を担う人材の育成(てしかがえこまち推進協議会)



漁業協同組合による出前授業  
(北海道マリンビジョン21)



ビューポイントのカフェ  
(シーニックバイウェイ北海道)



住民による植樹活動  
(「わが村は美しくー北海道」運動)

### 取組

### 沿道景観を確保するための除雪活動(知床)

- 地域からの意見をきっかけに、歩道等の除雪に地域と道路管理者が協働して取り組み、観光ニーズの高い流氷景観の眺望スポットが創出されました。



除雪前の状況



除雪中の状況



除雪後の状況

### 取組

### 北海道価値創造パートナーシップ活動

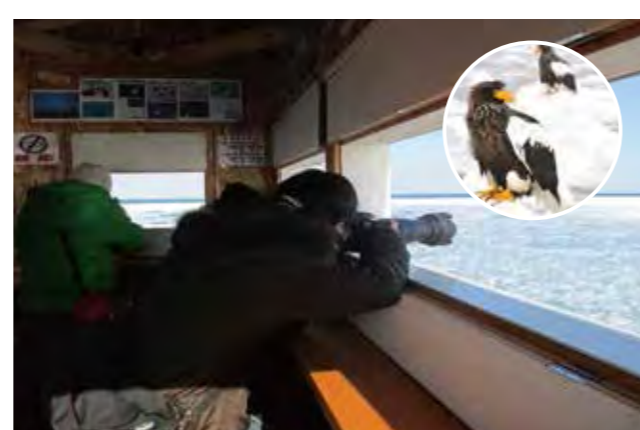
- 各地域の課題や個性に応じたテーマに沿った地域のサポートや、道内外の人材交流の場づくりを進めています。



北海道価値創造パートナーシップ会議

## 北方領土隣接地域の振興

- 北方領土隣接地域の振興及び住民の生活の安定に向けて、基幹産業の付加価値向上、新たな観光メニューの創造などに取り組みます。



バードウォッチング(根室市)  
(写真提供:北海道庁)

## アイヌ文化の振興

- 2020年(H32)一般公開予定の「民族共生の象徴となる空間」(白老町)の整備のほか、アイヌ文化の振興等を推進します。



アイヌの古式舞踊  
(写真提供:(一財)アイヌ民族博物館)



# 北の大地の豊かな恵み 北海道の「食」を世界へ！

食料自給率が約200%の北海道は、我が国の食料供給基地。  
農林水産業の振興、「食」の海外展開、  
そして、美しい農山漁村の維持発展を目指します。

## イノベーションによる農林水産業の振興

- 担い手の不足・高齢化の課題に対応するため、新技術などのイノベーションの積極的な導入を進めます。

農地の大区画化  
営農の組織化(法人化等)  
スマート農業( ICT、ロボット技術の活用)等  
CLT等の木材製品や優良品種の開発・普及  
間伐の着実な実施 等  
衛生管理対策やHACCP(※)取得  
養殖・栽培漁業の普及 等

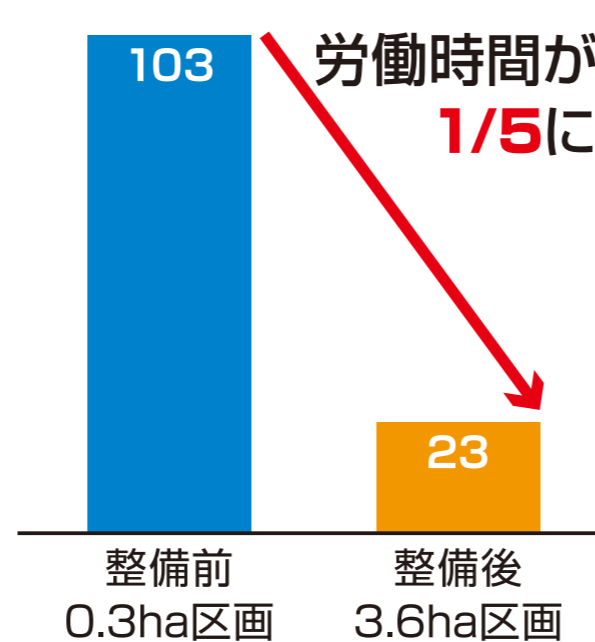


道産カラマツCLTを活用したセミナーハウス  
(写真提供:北海道庁)

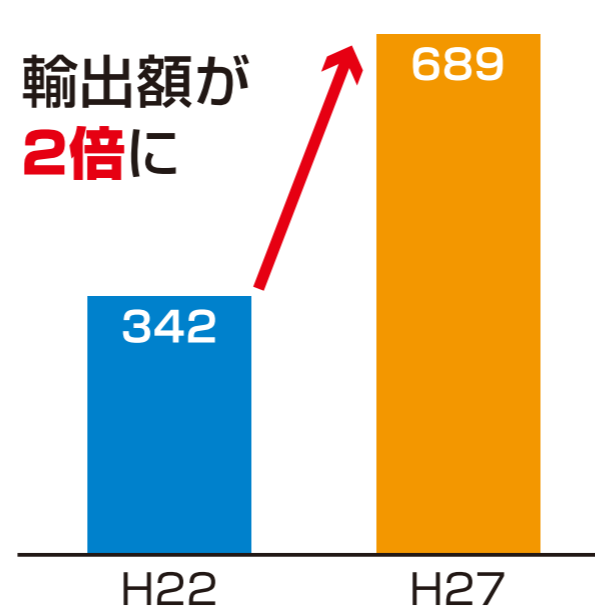


屋根付き岸壁

大区画化による省力化  
(水稲)(時間/ha)



水産物輸出額(億円)



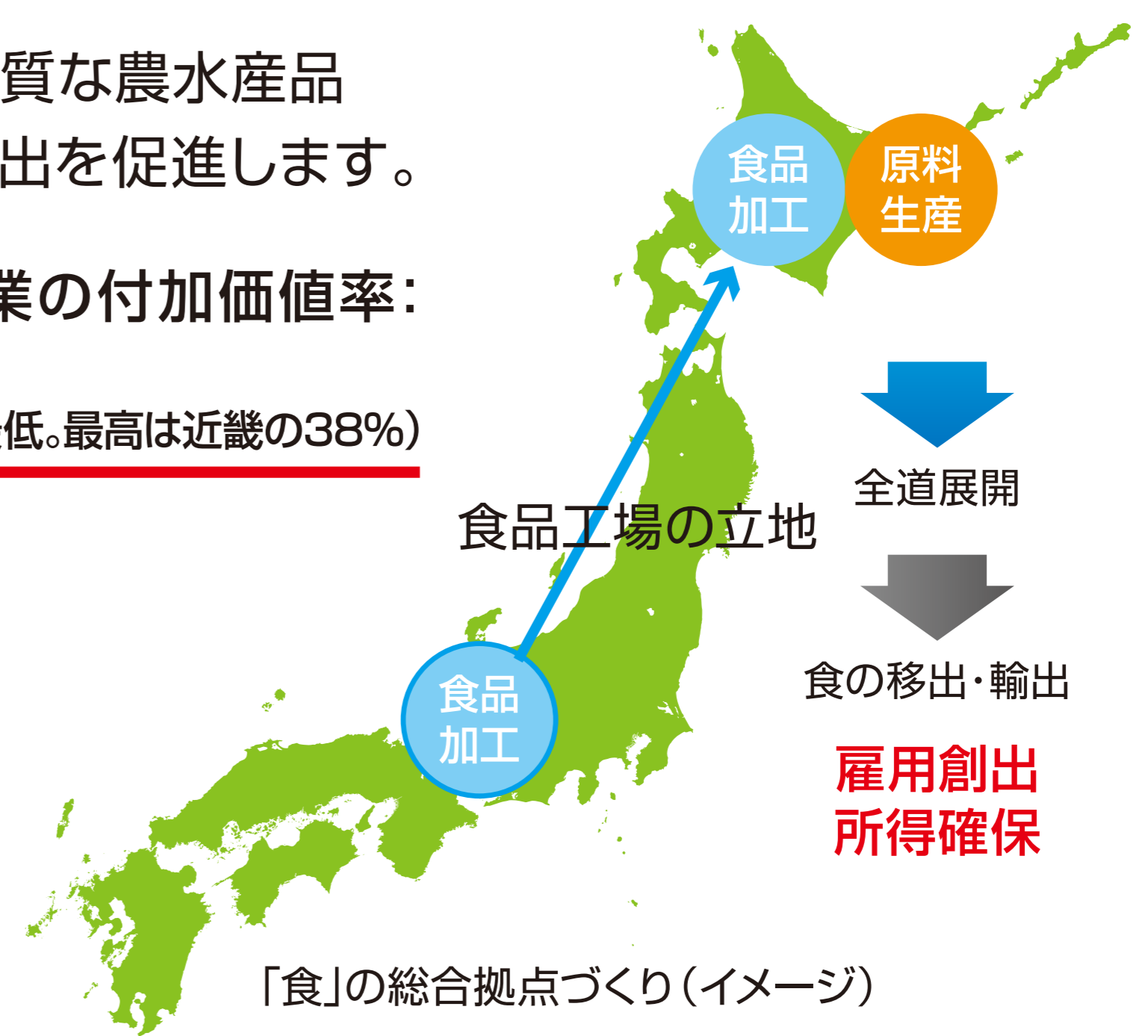
※HACCP: 食品製造等に関する危害要因を分析し、特に重要な工程を監視・記録するシステム。

水産物輸出額: **689億円**  
(全国の30.2%)(H27速報値)

## 「食」の付加価値向上/海外展開

- 農林漁業成長産業化ファンド等を活用し、6次産業化を促進します。
- 農業界と経済界が連携し、道外からの食品企業の誘致を促進します。「食」の総合拠点づくり
- また、高品質な農水産品・食品の輸出を促進します。

食料品製造業の付加価値率:  
**27%(H25)**  
(ブロック別では最低。最高は近畿の38%)



### 取組

## 担い手への農地集積の推進と地域農業の振興

- ほ場の大区画化等の農地再編整備を通じて、地域農業を振興します。

【整備前】小区画不整形、排水不良のほ場



1区画当たり0.3～0.5ha、75戸の小規模個人経営(11.7ha/戸)

【整備後】大区画へ再編整備



1区画当たり標準3.4ha(最大6.8ha)、4経営体による大規模経営(206.2ha/経営体)

- 新たな生産技術の導入による更なる効率化



GPSを活用した低コスト農業



地下水位制御によるかんがい

- 6次産業化による農村振興



農家組織による製品製造



農家レストラン



# 四季折々のおもてなし 世界を魅了する“Hokkaido”へ

雄大な自然環境。美しい農村景観。安心・安全な食。  
北海道が持つ観光資源を磨き上げ、発信し、  
世界の人々を引きつけます。

## 世界水準の魅力ある観光地域づくり

### 広域的な観光周遊ルートの形成

- 旅行需要の平準化を進め、経済効果を各地域に波及させる取組を進めます。

外国人宿泊延数：  
道央圏**73%**(うち札幌市38%)(H26)

食、歴史・文化、景観等の地域資源の発掘  
スポーツツーリズム等の観光メニューの創出・拡充  
外国人ドライブ観光の振興 等



スノーリゾート



ラフティング



サイクリング



食農業体験(長いも掘り)

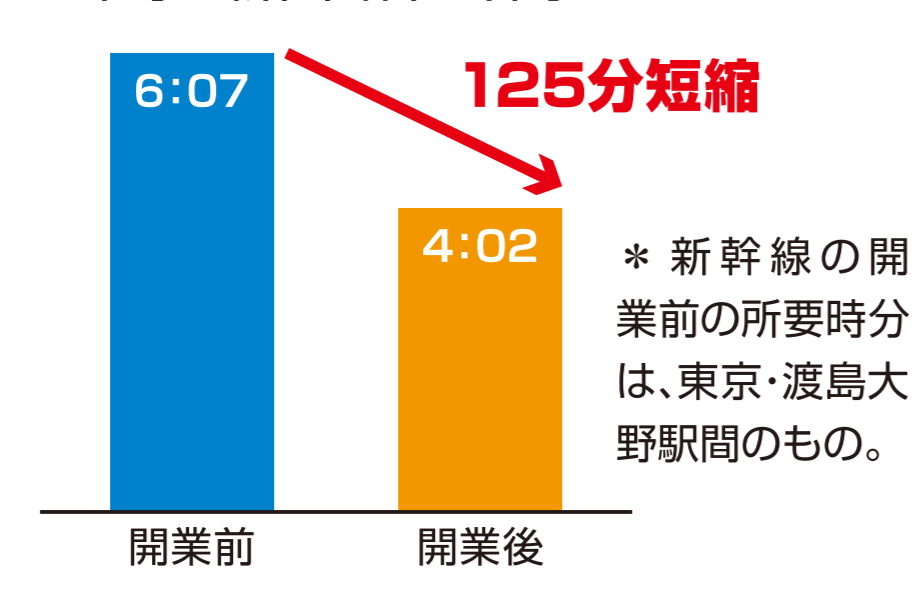
体験型観光メニューの創出・拡充

## 外国人観光客の受入体制の強化

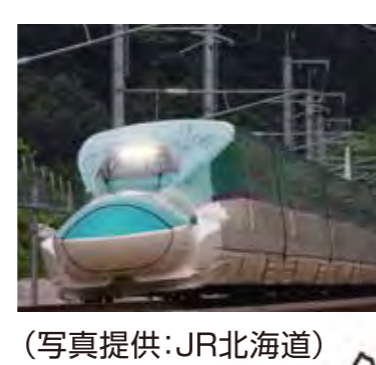
### 北海道新幹線の整備

【北海道新幹線完成の時間短縮効果】

● 東京・新函館北斗間



新函館北斗・札幌間  
2030年(H42)年度末  
完成予定



(写真提供:JR北海道)



訪日外国人来道者数：

29万人(H15)→**154万人(H26)**

全国比：**5.5%**(H15)→**10.5%**(H26)

### クルーズ船受入環境の改善



大型クルーズ船(室蘭港)

### 新千歳空港の機能強化等

誘導路新設、CIQ※施設の拡張 等  
道内空港有効活用・利用環境改善 等

新千歳空港国際線旅客数：  
43万人→**210万人**  
(H15) (H27速報値)

※ CIQ：税関、入管、検疫

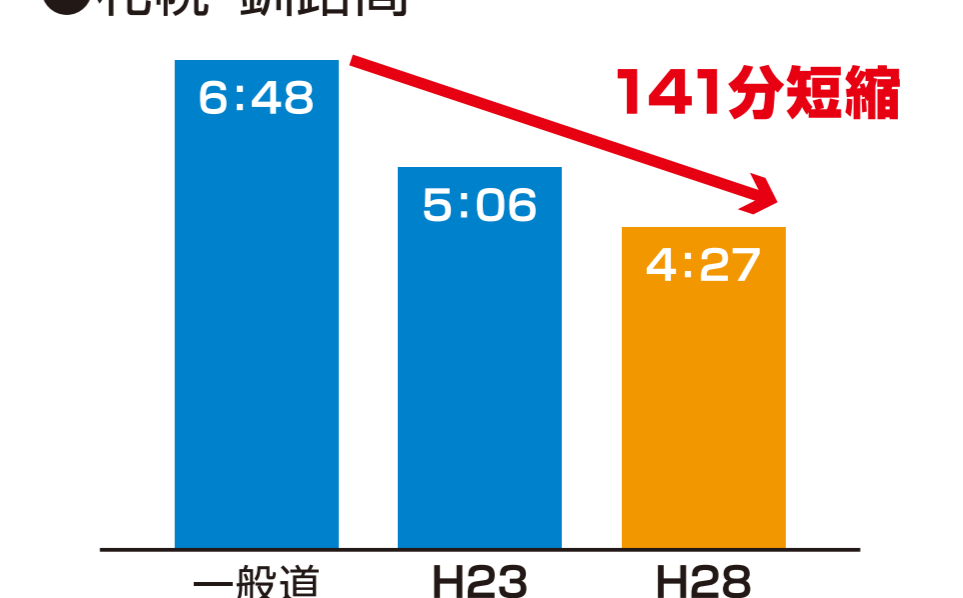


混雑する国際線カウンター(新千歳空港)

### 高規格幹線道路等の整備

【道東自動車道開通の時間短縮効果】

● 札幌・釧路間





# 北のフィールドを活かし 世界を目指して成長する産業

地域経済の活力の強化は、地域特性に合った産業振興と雇用創出から。北海道の強みを活かした戦略的産業振興や既存集積の活用と、それを支える人流・物流ネットワークの整備を進めます。

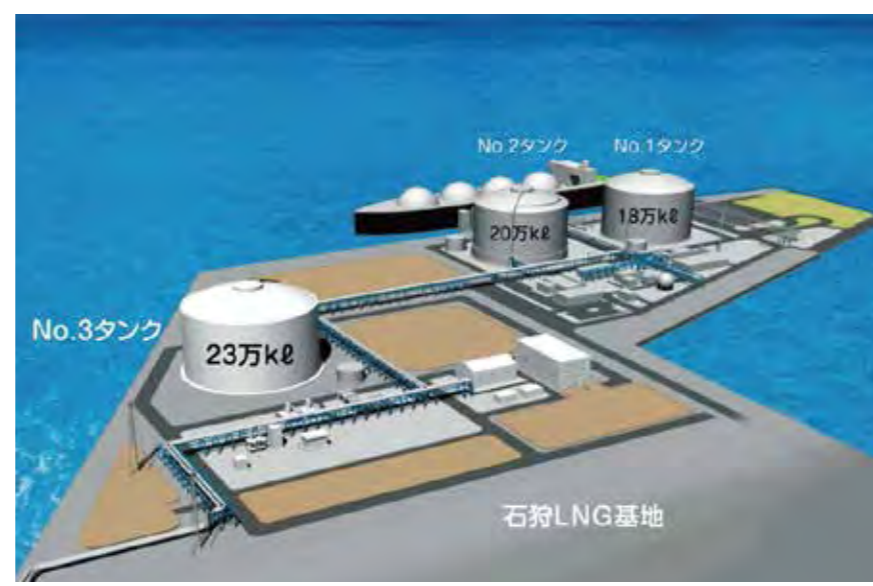
## 地域の強みを活かした産業の育成

### 産業集積の更なる発展

- 苫小牧東部地域や石狩湾新港地域などにおける企業誘致や、起業やイノベーションを促進します。



植物工場(苫小牧東部地区)



石狩LNG基地(石狩湾新港)

### 産業を支える人流・物流ネットワークの整備

- 農水産品・食料品や飼料原料の輸送や観光に求められる、広域的な人流・物流基盤を強化します。



高規格幹線道路(道東道)



釧路港国際物流ターミナル整備事業(完成イメージ)

### 取組

#### 苫小牧東部地域における産業集積

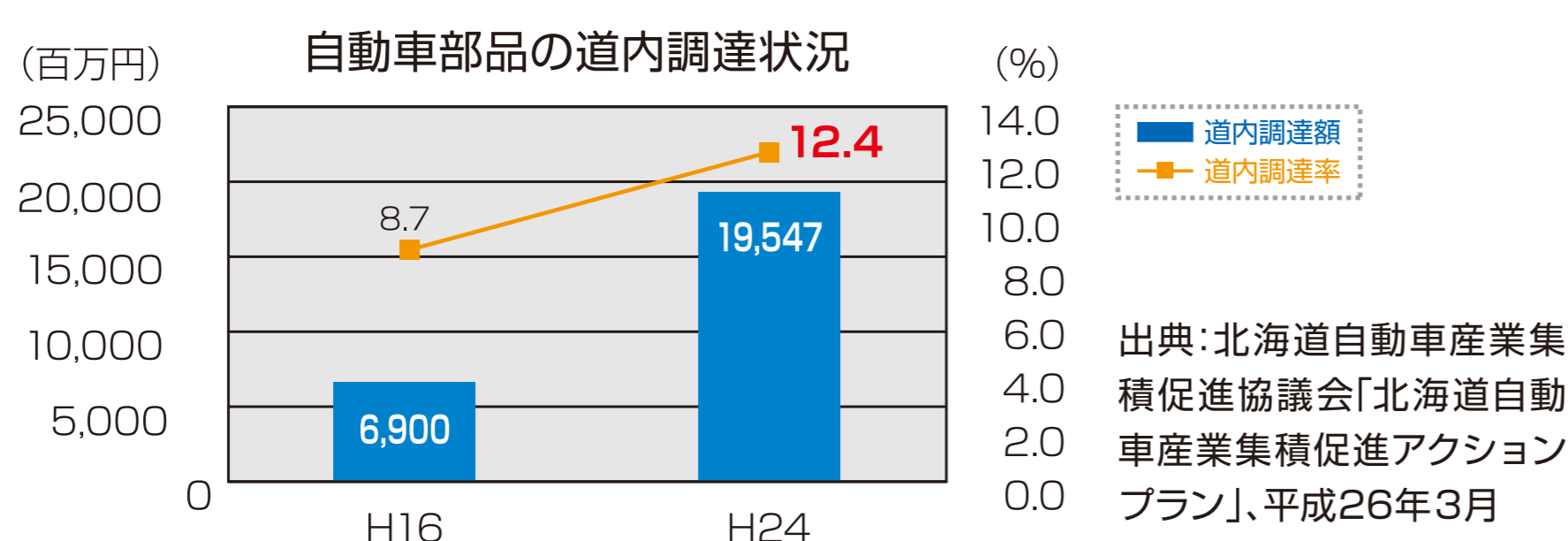
- 苫小牧東部地域では、自動車エンジン、クラッチ、アルミホイール等の部品を製造する自動車関連産業の集積が進んでいます。
- 近年では、道内企業の取引参入が拡大しています。



出典:アイシン北海道(株)HP



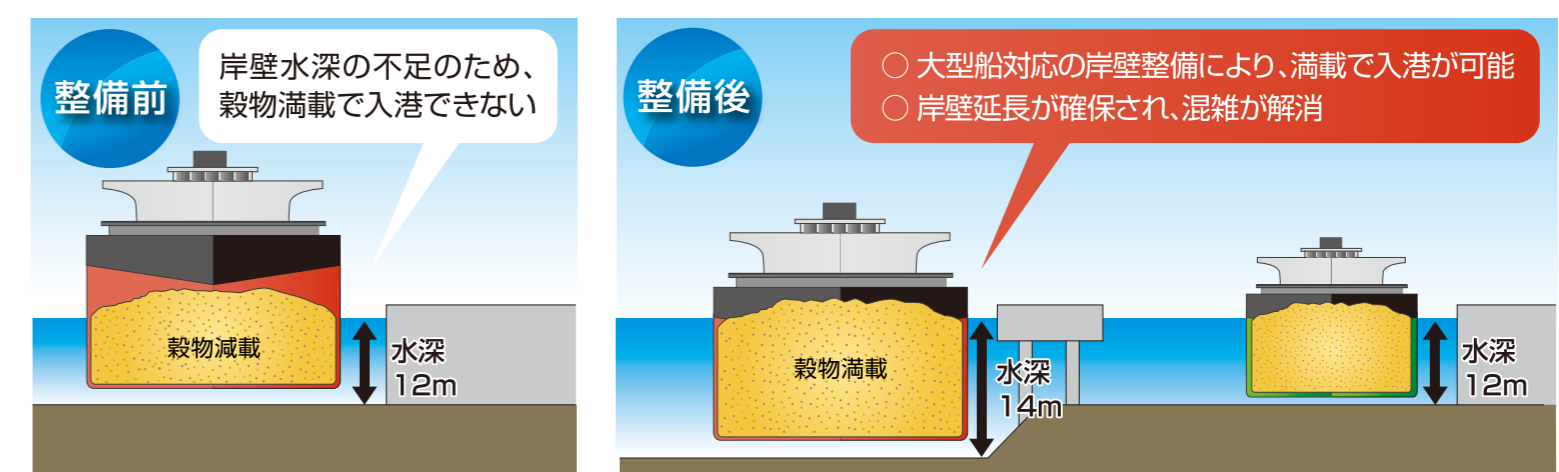
製造部品例(クラッチパック)  
出典:(株)ダイナックスHP



### 取組

#### 大型船に対応した国際物流ターミナルの整備(釧路港)

- 水深14mの国際物流ターミナルを整備することにより、大型船が満載で入港することが可能となります。



- 本事業により、効率的な海上輸送網が形成され、飼料原料の海上輸送コストの削減が期待されています。







# 受け継ぎ、活かす 恵み豊かな北の自然

持続可能な地域社会へ大きなポテンシャルを持つ北海道。環境・エネルギー面で地球規模の制約が顕在化する中、先導的な役割を果たすことが期待されています。

## 環境と経済・社会の持続可能性の確保

### 自然共生社会の形成

- 北海道の豊かな自然環境を保全・再生し、その持続的な利用を図っていきます。



蛇行復元による湿原再生(釧路川)



環境教育(北海道発祥の木育)  
(写真提供:北海道庁)

### 循環型社会の形成

- 廃棄物系バイオマスや未利用バイオマスのエネルギー等への利活用を図ります。



広域ごみ処理施設 メタン発酵槽  
(中空知衛生管理組合リサイクルセンター)

### 低炭素社会の形成

- 公共交通機関の利用促進など、エネルギー需給構造を省CO<sub>2</sub>型に変えるための取組を進めます。
- 健全な森林の整備・保全を図ります。



間伐実施後のトドマツ人工林  
(写真提供:北海道庁)

## 環境負荷の少ないエネルギー需給構造の実現

### 再生可能エネルギーの更なる導入

- 北海道には、全国のポテンシャルの約3割を占める風力・地熱を始め、太陽光、水力、バイオマスなどの再生可能エネルギー源が豊富に存在します。
- コスト面でもバランスのとれた地域分散型のエネルギーシステムを構築します。



風力発電(苫前町)



充電ステーション(稚内市)

### 取組

## 北海道水素地域づくりプラットフォーム

- H27年度から水素を活用した地域づくりの検討を産学官により進めています。



第1回会合(H27.5)

#### 【設立目的】

北海道に豊富に賦存する再生可能エネルギーの活用を、水素を利用することにより促進させ、水素を活用した地域づくりを検討する

#### 【活動内容】

意見交換、情報交換、視察の実施、先進的取組の支援等

参加団体等数:45  
(H28.2.29末現在)  
(北海道外の企業含む)







# いのちを守る 北の厳しさを乗り越える

地震・津波、火山噴火、暴風雪…

頻発・激甚化が懸念される風水害、土砂災害。

暮らしと経済を守るため、連携して国土の強靱化を推進します。

## 激甚化・多様化する災害への対応

### 「人命を守る」ための体制づくり

- 国、地方公共団体、住民、民間事業者などが連携して災害対応に取り組む体制を構築します。



放置車両移動訓練の実施



TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)の派遣

## 安全・安心な社会基盤の利活用

### インフラ老朽化対策の推進

- 予防保全の考え方にもとづき、インフラの戦略的な維持管理・更新を進めます。



地方公共団体職員を対象とした現地講習



道路構造物の点検状況

### 冬期災害への対応

- 冬の暮らしを守るため、ハード整備とあわせて、集中的・効率的な除雪や情報提供に努めます。



冬期交通確保のための除雪作業



【北海道道路地区情報】  
【現況視界情報(PC版)】  
北海道地区道路情報(スマートフォン用)

### 気候変動等による災害リスクへの対応

- 降雨の局地化・集中化・激甚化など、今後の気候変動等による災害リスクの増大に対応します。



サンルダム建設事業(完成イメージ)



豊平川直轄砂防事業(完成イメージ)

## 取組

### 大規模水害に備えた根幹的治水対策 (千歳川流域の治水対策)

- 千歳川流域において、堤防整備や河道掘削と遊水地群の整備を合わせた総合的な治水対策を推進しています。



千歳川の洪水の状況(昭和56年)

#### 遊水地群の整備

- ▶ 洪水を貯留し河川の水位が高くなるのを抑える



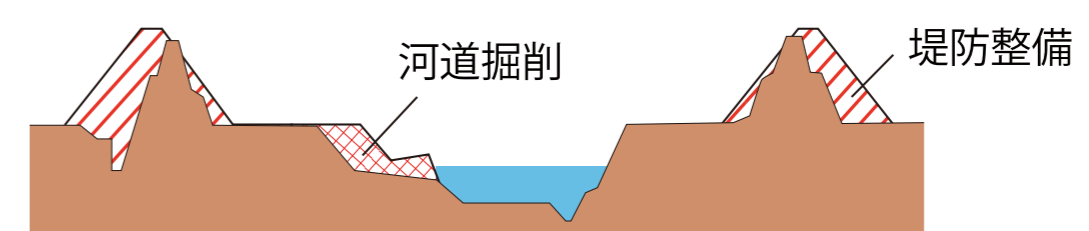
洪水時には排水門を閉じる

洪水時に河川水位が上がると越流堤を越える

周囲堤

#### 堤防整備・河道掘削

- ▶ 洪水で河川水位が高くなっても安全な堤防を整備
- ▶ 洪水を流せるように河道を拡大



河道掘削

堤防整備